

# (仮称) 相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業 「環境影響評価方法書」に関する説明会について

## 説明会状況

令和元年11月22日(金)、24日(日)に本事業における横浜市環境影響評価条例に基づく「環境影響評価方法書」の説明会を開催しました。説明会は、旭公会堂で実施し、両日合わせて205名の方にご参加いただき、環境に関する様々なご意見をいただきました。

## 説明会周知方法

対象事業実施区域から約500m圏にかかる町丁の全域及び一部地域にポスティング(約2.5万部)をするとともに、横浜市道路局HPへの掲載や、西谷駅、鶴ヶ峰駅、二俣川駅へのお知らせの配架、旭区連合自治会町内会連絡協議会に周知を行っています。

## 主な説明内容(スライド資料はHP掲載済み)

### 1. 事業計画

- 1-1. 鶴ヶ峰駅付近の状況
- 1-2. 都市計画対象事業の概要
- 1-3. 事業スケジュール

### 2. 環境影響評価

- 2-1. 環境影響評価制度
- 2-2. 環境影響評価方法書の内容
- 2-3. 縦覧及び意見書の提出

※ スライド資料(約50ページ)にて説明

**環境影響評価とは**

**環境影響評価(環境アセスメント)制度**

事業が環境に及ぼす影響について

- ・事前に調査、予測、評価
- ・その結果を公表
- ・市民等から意見を聴くなどの手続を実施

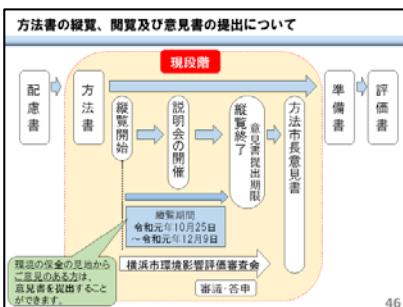
適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度

**調査・予測の内容(地下水位、地盤)**

【調査方法】  
既存資料の収集調査(ドローン撮影を含む)  
現地調査

【調査内容】  
地下水位の経路  
地盤状況の状況  
地盤の状況

【予測】  
(工事及び供用時)  
地下水位  
地盤の変化



**評価の手法**

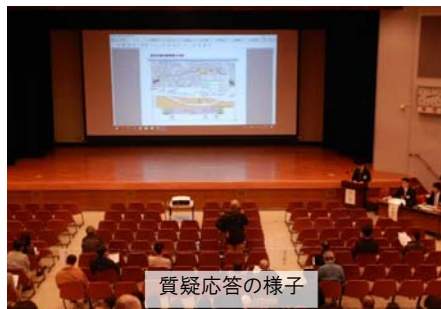
- ・横浜市が定めた計画及び指針等の中で設定している目標
- ・環境基準
- ・法令等で定められている基準
- ・地球環境に著しい影響を及ぼさない水準 等

**環境保全目標を設定**

◆ 予測結果との対比により、評価

※ 結果等については、今後実施する準備書にて、お示しいたします。

## 説明会の様子



## 環境に関する主な質問と回答の要旨

### Q1: 環境調査の範囲は?

A1: 対象実施区域から両端約500mを環境影響を受けるおそれがある範囲として設定しています。この範囲内で調査を実施することになります。

### Q2: 事後評価で予測を超えた場合の対応は?

A2: 予測値を超えた場合、基本的には鉄道施設で対策を講じます。

### Q3: 振動・騒音における調査地点の根拠は?

A3: 構造形式ごとに設定しています。

### Q4: 事業実施区域には昔、沼があり地盤が弱いはず。調査をしないのか?

A4: 既存文献調査では、深さ約10m程度で硬い地盤になると示されています。今後、設計に係るボーリング調査等で確認していきます。

### Q5: 土地の安定性の評価には急傾斜地の崩壊以外にも該当しているのか?

A5: 地盤の変形等も含まれています。

### Q6: 自動車交通量や歩行者交通量の調査は平日1回でよいのか?

A6: 国が実施する交通情勢調査(道路交通センサス)での現地調査は原則1回となっており、それに準じて設定しています。